

広州塔
全高600mの電波塔。電波塔として長らく世界一の高さを誇っていましたが、現在はその座を東京スカイツリーに譲っています。



世界の地域から

広州市 (中華人民共和国)



広東料理

「食は広州にあり」といわれる広東料理のメッカ。「点心」や「飲茶 (ヤムチャ)」など、多種多様な広東料理が味わえます。



広州市は、中国南部、華南地方最大の都市で、北京・上海と並び中国三大都市の一つです。「羊に乗った五人の仙人が稲穂をもたらした」という故事から、古くには羊城、穗城と称され、長い歴史を有していますが、改革開放政策以降いち早くその波に乗り、今では中国屈指の経済発展を成し遂げました。自動車を中心に、日系企業の進出も盛んな地域でもあります。

経済都市のイメージの一方、豊富な文化も有しており、その代表が広東料理です。「食は広州にあり」といわれるほどで、市内には多彩な広東料理があふれています。

= CLAIRメルマガ読者募集中！ =

観光、物産、交通、IT、環境など海外お役立ち情報満載のメールマガジンを好評配信中
右の二次元バーコード、または“CLAIRメルマガ”で検索、登録をお願いします





夜の上下九步行街

広州でも屈指の繁華街。歩行者天国となっており、夜でもたくさんの人で賑わいます。



越秀公園内の五羊仙庭

かつて羊城と呼ばれた街の由来から、広州市のシンボルとなっている羊の像。その周りは市民が集う憩いの場ともなっています。



中国輸出入商品交易会

毎年、春（4～5月）と秋（10～11月）の2回、この会場で開かれる「中国輸出入商品交易会」は、中国最大級の国際見本市であり、第1回の開催は1957年とその歴史も50年以上になります。開催中は100か国以上からバイヤーが押し寄せます。



広州市内の高層ビル群

改革開放政策以降、広州市は目覚ましい経済発展に成功しました。1990年に約320億元だったGDPは、2010年には1兆元を超え、わずか20年間で30倍以上の経済規模へと成長しています。



珠江からの風景

市内中心部を西から東へと流れる珠江からは、歴史的な洋館と真新しい高層ビルを同時に見ることができます。この珠江を下るクルーズは観光客に大人気です。



中山記念堂

辛亥革命を起こし「中国革命の父」と呼ばれる孫文を記念して建てられた講堂で、広州を代表する建物の一つです。中国では孫文よりも孫中山と呼ぶほうが一般的であり、記念堂も孫中山の名前からきています。



沙面エリア

かつて欧州列強の租界となった名残から、今でも数多くの洋風建築物が残っている、異国情緒溢れるエリアです。